

2020年9月

一般社団法人 日本塑性加工学会
鍛造分科会 委員各位

鍛造分科会
主査 大津 雅亮

最優秀鍛造技術者受賞記念講演・第108回研究集會会場変更 およびWEB同時配信のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は当分科会事業活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

以前ご案内いたしました10月16日開催の第16回最優秀鍛造技術者受賞記念講演・第108回研究集會まで3週間をきりましたが、当初予定していました会場が貸し出し不可となり、急遽会場が変更になりました。コロナ感染状況は少し収まってきている方向ではありますが、いまだ予断を許しませんので、現在の段階で開催形態は、会場での対面開催と同時にWEB配信を予定しております。

コロナ感染対策の都合上、定員(40名)に達し次第、申し込み終了(先着順、すでに申し込み済みの方は再度のお申し込みは不要)とさせていただきますので、ご了承ください。WEB配信は現在、準備を進めていますが、設備の観点から断念する可能性があり、また配信できないご講演プログラムもありますので、ご了承ください。(次頁参照)

WEB配信の関係上、資料(テキスト)については全委員に事前に郵送予定ですので、会場参加の方は当日、各自持参いただくことを予定しています。

ご多用のこととは存じますが、ご出席を検討くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

スケジュール概要

1. 開催日時

2020年10月16日(金)
13:00~13:30 第16回最優秀鍛造技術者賞記念講演
13:30~13:40 休憩・会場整備
13:40~15:35 第108回研究集會
定員:40名(感染対策のため制限を設けます。)

2. 開催場所

会場:神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-14 加瀬ビル118 2階
新横浜3丁目大ホール(定員:96名/窓あり、換気可能)
アクセス JR横浜線「新横浜」駅より徒歩3分
東海道新幹線「新横浜」駅より徒歩3分
横浜市営地下鉄「新横浜」駅より徒歩3分
※別紙地図参照ください。

注記

- ご参加に際しては、マスクの着用をお願いします。
- 当日は、参加者のマスク着用の徹底・消毒液の準備等可能な感染対策を実施します。
- 当日発熱などの風邪症状のみられる方は参加をご遠慮ください。

《第 16 回最優秀鍛造技術者受賞記念講演》

日時：2020 年 10 月 16 日(金) 13：00～13：30
プログラム（司会：日本製鉄（株）加田 修君）
開会の挨拶 鍛造分科会主査 大津 雅亮君

1. 受賞者紹介（13:00～13:10）
2. 受賞記念講演(13:10～13:30) 会場開催、WEB 配信

2019 年度最優秀鍛造技術者賞受賞者

(敬称略)

氏名	業績時の所属・職位	業績
なまき かずまつ 生木 一松	(株) ニチダイ 技術部 部長	自動車部品の冷間鍛造技術の高度化

《第 108 回研究集会》

テーマ：『これからの鍛造のための環境対応・高精度化・高付加価値化技術』

日時：2020 年 10 月 16 日(金) 13：40～15：35
プログラム：司会 日本製鉄（株）加田 修君

講演

- 1) 自動車用クランクシャフト鍛造におけるバリ（廃棄物）削減新技術
(13:45～14:25：40 分)

13:45～14:15:30 分 会場開催、WEB 配信

14:15～14:25：10 分 質疑応答 (※会場開催のみ WEB 配信はありません。)

本田技研工業（株） 田中 智也君

- 2) 超大型タービンブレードの高精度高品質型鍛造技術の開発と量産化
※（会場開催のみ WEB 配信はありません） (14:25～14:55：30 分)

(株) 日立製作所 寺前 俊哉君

- 3) 冷間鍛造によるチタン製インプラント作製への取り組み
会場開催、WEB 配信

(14:55～15:35：40 分)

(株) タイショーテクノ 岡室 養子君

WEB 配信でのご参加（聴講）の際の注意事項

お申し込みの際は、下記の注意事項にご同意の上、お手続きいただきますようお願いいたします。お申し込みの際には、本注意事項に同意され、ルールを遵守いただく事を前提といたします。なお、ルール違反が報告された際には、その場から退場いただく事も御座いますのでご注意ください。

- 1) 参加方法は参加者に後日ご連絡致します。
- 2) 配信画像・音声および発表資料は全て、著作権法上の著作物に該当します。参加者による、これらの著作物の録画・録音、静止画撮影、画面キャプチャーなど一切の保存・再配信は禁止としております。
- 3) オンライン接続に関する技術サポートはできません。また、オンライン接続に万一トラブルが生じた場合でも、日本塑性加工学会（鍛造分科会）ではその責任を負いませんので、ご了承ください。